

# あさみ会報

朝見まちづくり協議会 あさみ会報編集部  
 松阪市大宮田町209-4 電話52-0007  
 朝見地区市民センター内

平成26年7月1日発行 第47

## 災害時協力企業（事業所）の紹介

《朝見地区内の各事業所と災害時の救出作業の協力協定を行っています》

（大宮田）茂谷工務店・大徳建設（株）・上川運送（株）・J A松阪農機センター（下七見）東部建設（株）（朝田）（株）北川鉄工建設・葵クレーン（佐久米）小林アームライセンター（立田）宝山石油（株）・中尾木材（有）・（株）ミック・鍛冶春建設（有）・さくらテラス（古井）（有）松井工務店・楠産業（有）・エムエフツト（有）・岡田園芸（株）カカ機工（新屋敷）第一産業（株）（上七見）（有）橋本電機・奥村農産（和屋）スズキ産機（有）・溝口土建・井上組（有）安達建設

## 第九回定期総会開かれる

朝見まちづくり協議会第九回定期総会が六月一日開催され、平成二十五年度各事業（案）・決算（案）などを承認。また、平成二十六年新役員・各事業・予算の各案等も全開一致で承認された。

今総会は、一部・二部形式で進められ、一部では来賓でご出席をいただいた、山中光茂松阪市長、中西県会議員、田中祐治松阪市議会議員の三人の方々にそれぞれ挨拶をしていただきました。



挨拶に立つ北川新会長

また、届いたメッセージも（厚生労働大臣 田村憲久様、前衆議院議員 森本哲生様）紹介され、総会一部最後

には「小さな親切運動」などを行っている、「善行者」の方々を表彰。感謝状、記念品を贈呈しました。

この方々は次の通りです。

朝田町 なかよし会

（今西きぬ、池内志づ子、今西みつる、三田清子、三田雪子の各氏）

大宮田町 大井安彦さん

総会二部では、議長に増田直樹代議員（下七見町）、副議長に

増田直樹代議員（下七見町）、副議長

長に永田憲明代議員（大宮田町）を選出。

代議員の紹介をへて、議案書の二十五年度の事業報告、会計報告、監査報告があり代表

（表彰される「なかよし会」代表

議員からは、「防犯灯設置」の件で、質問・意見がだされました。この報告は承認され、その後二十六年度事業計画、予算案、人事案などが役員、各部長より提案。これに対して、代議員から、「防災訓練で不参加の人達をいかに参加してもらうのか」「学童保育の開設は」「青パトの購入予定は」など数多くの質問、要望、意見がだされ、熱心な討議を重ね議案は承認されました。



最後に挨拶に立った北川敏雄新会長は、「光輝く人材で、光輝くまちづくりをめざし、活動を進めていく決意です。そのためには、ご出席の皆様方をはじめ、地区内の方々のご協力が不可欠。どうかよろしくお願いたします。」と訴えました。

### 新役員・新運営委員

協議会顧問	田村 正	自治会長朝 田 三田 孝夫
協議会顧問	山崎 高祐	自治会長立 田 北川 博巳
協議会顧問	橋本 一男	自治会長和 屋 宇川 正一
会 長	北川 敏雄	自治会長下七見 澤村 直樹
副 会 長	野呂 昌美	自治会長新屋敷 溝田 隆
副 会 長	葛谷 光繁	自治会長古 井 岡田 訓昌
副 会 長	牧戸 博昭	自治会長西野々 北川 一也
副 会 長	田上 勉史	自治会長大宮田 茂谷 由明
副 会 長	橋本 明	朝見小学校 西田 尚史
書 記	殿内 祐哉	寿 会 藤井たみ子
会 計	小林 純一	保 護 士 田中 祐治
地域策定委員長	榎本 義譲	消 防 団 中西 徳生
防災部会長	田所 桂	民生児童委員 殿内 隆之
防犯部会長	安達 薫	民生児童委員 大谷幾津子
福祉部会長	牧戸美津子	地区児童委員 黒宮 浜子
青少年育成部会長	野林恵利子	地区交通安全協会 山路邦夫
地域環境部会長	小林 豊	市民センター 早川 隆史
公民館長	堀井 秀郎	
事務局長	東出 照男	
協議会 監事	永田 幸弘	
協議会 監事	有滝 和光	

（左側 新役員 右側 新運営委員）



# 高松市から視察に四十三名

高松市コミュニティ協議会連合会様（会長滝川三郎・四十一協議会）一行四十三名が、五月二十九日朝見まちづくり協議会を視察・研修で訪問。出迎えを始め、研修・意見交換会には、北川会長代行、役員など六名が対応。山中光茂松阪市長も途中より出席され、挨拶の中で市全体のまちづくり協議会の歴史、現状、将来の展望など、市政の方向を熱く語りました。



朝見まちづくり協議会からは、田所桂防災部長が「防

数の企業さんが町内や県道の一部の「雪かき」を実施して頂いた事など、日常から

「災害訓練」を中心に説明し「同じ事でも何回も何回も繰返し訓練することが重要」と強調。そのほか、全国にも例のない「災害時協力企業」について説明。同企業さんとの契約内容、交流等を報告。毎回の訓練に瓦礫（がれき）、廃材などを準備し訓練参加している企業さんや今年二月突然の雪でマヒした時、複

協力をしてもらっている事を紹介しました。高松市からの参加者からは、「協力企業

についてもう少し聞きたい」「自治会員の協議会加入率」「防災訓練における女性の役割、位置づけは」「予算書を見ると人件費が微小。人件費は？」と次々に質問が出され、田所防災部長、北川会長代行がひとつひとつ丁寧に受け答えを行いました。

## 地域元気応援事業

### 広域連携部門で

#### 第一位獲得！

平成二十六年度の地域の応援事業の公開プレゼンテーションが、六月一日市内で開催され、広域連携部門（四地区応募）で東部管内ネットワーク（朝見・機殿・掃水・漕代・西黒部・東黒部の六協議会の連携組織）が第一位を獲得しました。



避難経路を示す立て看板

同ネットワークでは、想定される大地震等の災害に備え、連携を深め、標語の作成、避難経路を示す看板設置等の事業を行いました。今後も意識の高揚、継続につながる活動をめざしています。

自然を守ろう！



## 貴重な生き物放流

### 魚救出作戦

朝見の豊かな自然を守りつなごうと「魚救出作戦」が六月十日朝見小学校人工池で行なわれ児童四十四名が出席。昨年九月に放した約四百匹の魚をタモにすくおうと、児童たちは泥んこになり

ながら悪戦苦闘。救出した生き物は「フナ」「タナゴ」「おいかわ」「メダカ」「ドジョウ」「ニゴイ」など七〜八種類。中には全国でこの朝見の一部と岐阜の一部にしか生息



トーカイ・コガタ・スジジマドジョウ



が見られない、「トーカイ・コガタ・スジジマ・ドジョウ」という貴重な「ドジョウ」も。児童たちはこの後、近くの小川へ捕獲した魚を「大きくなれ！」と声をかけながら放流しました。

レシート投函キャンペーン  
ご協力のお礼



マックスバリュ中央店、当協議会投函箱に投函していただきましたレシートの1%寄贈が、今回は8400円分ありました。いただいた寄贈分は「ペットボトルお茶」に引き換えまして、イベントの際、地域の方に使っていただきます。ご協力ありがとうございました。